## 南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート □ 新規 ☑ 継続 (事業 委託 補助用)

<u> 基本</u>	事項	`			,		整理	番号	580	
事 業 名	雷動	]式生ごみ処理機補助	· 全	予	会計	一般会				
事 未 口   电劉以王との処理機補助金		ΔIL	算		衛生費					
担当部課名	市民生活部 生活環境課			科	項	清掃費	・2項			
電話	0799	9 - 43 - 5024		目	目	ごみ処	理費・2	目		
事業分類		義務的(法定)事務	法的根据	T.	南あわ	じ市ご	み減量	化機器	設置補助金	交
争未刀积	<b>▽</b>	任意的(自治)事務	(法令、条例、要綱等) 付要綱							
まちづくりの柱			安らぎづくり元気あふれ住んで快適なまちづくり							
南あわじ市総合計画		まちづくりの目標	子どもを産みた	:い育	てたい	まち【子	·育て】			
施策体系		施策目標	ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる							
該当する事業について「」を選択			施策的事業		業利	务委託		負担	金補助	

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

	гіаі	
		<b>対 象</b> (誰を・どのような状況の人に)
		市内に居住する住民で、家庭において減量化機器を新設、又は更新使用 <mark>対象人数(人</mark>
		とする者。
		<b>40</b>
	┃	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)
		補助制度を設けることで、生ごみ減量化機器購入の動機付けを促進する。
	的	開助制度を取けることで、主この減重化機器期入の割機削けを促進する。
	เล	
		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)
		機器購入金額の概ね2分の1(上限40,000円)を補助することで、各家庭での導入を
事		図る。
	実	
業	施	
	内	
概	容	
要		
		(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など
		一般家庭ごみの年間排出量の約4割を占める生ごみの減量化に対して、減量化機器等
		を用いた各家庭での取組では、減量できる生ごみの量は限定的なものではあるが、焼却
	-IK	施設でのダイオキシンの低下に繋がり、又堆肥などの資源としても有効に利用されるこ
	背	とで、ごみ減量化の気運を盛り上げる施策の一環としての効果を期待する。
	_	
	景	
		<b>美実施主体</b> ☑ 市直営 □ 民間・その他 (
	Į	<b>『業期間 □ 平成 年度 ~ 平成 年度 ☑ 設定なし</b>
合併		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)
併	✓	旧緑町 ☑ 旧西淡町 ☑ 旧三原町 ☑ 旧南淡町 □ 旧広域事務組合 □ 新市から
協議	各町	実施していたので、南淡町の交付基準で調整。
事		
務		
調		
整		
内		
容		

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

<u>Ш</u>	<u>DU (</u>	、尹禾	活動・以未、 指	メハリ	『源・コス	1 /		比無以力		
			指標名	  交付実績				指標単位		
				XIJXMR				円		
「実施内容」に より得られる 活動結果指標			指標説明 (指標算出方法等)	予算額	に対する交付額実績比。					
					平成17年度 平成18年度		平成19年	度 平成20年度		
		1755	目標値		1,200,000			00 1,200,000		
(アウ	フトプッ	ν <b>ト</b> )	実績値		2,005,000	831,600				
(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			達 成 度	(%)	167.1	55.4	61	-		
			目標値設定 の考え方	当該年	度予算額					
			指標名	交付申	語			指標単位		
			3日 1ホ 口 	٦١٦٣	HH			円		
達	トプット 成され	る	指標説明 (指標算出方法等)	補助金	交付申請額					
	りに対					平成18年度				
事業	の成果	指標	目標値		2,005,000					
(17)	ウトカ	/s>	実績値		2,005,000					
	.フトソ	Δ)	達成度	(%)	100.0	100.0	61	5		
目標値設定 の考え方			補助金交付申請に対する交付実績額。							
						平成18年度				
			直接事業費[A]	(千円)	2,005	832	1,5			
			補助金		2,005	832	1,5	00 1,200		
資										
源			財 源	(千円)						
源配分			国							
	県									
			起債							
1	その他									
シ	一般財源			2,005	832	1,5				
ンプシ				(千円)	154	150		51 151		
	平均人件費(1日当り)			*/	30.7	29.9	30			
2	事業量1(事業に要した日数) 事業量2(事業に要した人数)			5	5		5 5			
				女X )	2 150	1	4.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	[ [	<del>  平</del> 的」対象	<b>間経費([A]+[B])</b> 民人数1人当り経費	(工四)	<b>2,159</b> 54.0	<b>982</b> 24.5	1,6	51 1,351 1.3 33.8		
	受益者		<u> </u>	(千円)	54.0 54.0	24.5		33.8		
	又血乍	ノス文义(			04.0	24.0	41	.0  00.0		
	経費に関する補足説明									

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価)

<u>IV</u>	Check (事業の			· <u>次評価)</u>			
			単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	活動結果指標目標		%	167.1	55.4	61.5	-
	(アウトプットの達成度:	分析、問題点	・課題な	:どを記入。)			
達	H17の申請件数が多				H19は前年並	みに推移。	( <sub>5</sub> 己
成	THE STATE OF THE S	13 2 1010001	3 (	101011111010	1110101111111111	ο, ισμήν <sub>ο</sub>	5 己
度							点評
反							→ 価
							2
							2
			単位	亚战17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	+ C + C + E -	<b>*</b> * * * * * * * * * * * * * * * * * *					十八八八十尺
	成果指標目標道		%	100.0	100.0	61.5	-
	成果向上≌		%	-	58.5	10.9	-
<b>+</b>	(事業実施による目的)	こ対しての有効	効性分析	f、問題点·課題	<b>題などを記入。</b> )		
有	申請者全件に補助会	È交付。					(n) 自 (n) 1
効性							5 🗀
性							点評
							→ 価
							5
							၁
			単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	活動実績1単位当	5I)经费	千円	0.0	0.0	0.0	-
	<u>加勒契順「中位</u> 効率性増減		%	0.0	9.6	51.6	
				-	9.0	0.10	-
∂h	(効率性・コストの分析、		退なとを	起人。)			白
効率	補助金交付事務のみ	<del>ን</del> 。					(S) 自 (S) 己
性							上世
							点評
							→ 価
							<u> </u>
							4
	ハサ州の京爪				ier.		
	公共性の高低	☑ 高		ф <u></u>	<b>低</b>		
	(公共性、市民ニーズ、		<mark> □</mark> E分析、「				4
			上口				4
	(公共性、市民ニーズ、		<mark>┃ ┃</mark> を分析、「				<b>4</b> 自 5 己
必要	(公共性、市民ニーズ、		<mark>┃ ┃</mark> E分析、「				4 自己評
必要性	(公共性、市民ニーズ、		<mark>┃ ┃</mark> €分析、「				<b>4</b> 自 5 己
必要性	(公共性、市民ニーズ、		<mark>┃ □</mark> E分析、┃				4 自己評
必要性	(公共性、市民ニーズ、		⋸分析、「				4 自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。	緊急性などを					4 自己評
必要性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を	緊急性などを	分析	問題点・課題な			4 自己評価
必 要 性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。	緊急性などを	分析	問題点・課題な	どを記入。)		4 自己評価
必 要 性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。)		4 自己評価
必 要 性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。) 価グラフ		4 自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。) 価グラフ	<b>主</b> 成度	4 自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。) 価グラフ	<b>主</b> 成度	4 自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。) 価グラフ	<b>室</b> 成度	4 自己評価
要 性 	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。) 価グラフ	<b>室</b> 成度  5 ↑  4 ↑  3 +	4 自己評価
要 性 	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。) 価グラフ	<b>主</b> 成度 <sup>5</sup> → <sup>4</sup> → <sup>3</sup> → <sup>2</sup>	4 自己評価
要 性 	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	どを記入。) 価グラフ	達成度 5-4-3-2 1-	4 自己評価
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ	5 T 4 - 3 - 2 1 -	4 自己評価 4
	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ	達成度 5 - 4 - 3 - 2 1 - + 0 - + + + + + + + + + + + + + + + +	4 自己評価
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ	5 T 4 - 3 - 2 1 -	4 自己評価 4
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ	5 T 4 - 3 - 2 1 -	4 自己評価 4
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ	5 T 4 - 3 - 2 1 -	4 自己評価 4
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ	5 T 4 - 3 - 2 1 -	4 自己評価 4
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ う	5 4 3 3 1 1 10	4 自己評価 4
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ う	5 T 4 - 3 - 2 1 -	4 自己評価 4
要性 総合評	(公共性、市民ニーズ、 補助事業である。 自己評価を ごみの減量化に直絡	緊急性などを <b>S</b> まえた現状 <b>i</b> する事業で	分析	問題点・課題な	でを記入。) 価グラフ う	5 4 3 3 1 1 10	4 自己評価 4

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
	□ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合	□ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合
今	□ 予算充実 ☑ 予算削減 □ 手法見直し	□ 予算充実 ☑ 予算削減 □ 手法見直し
後	ごみの減量化に直結する事業であり、排出量	同左
の方	削減の啓発事業としても有効な制度と考えるの	
方	で、現状維持が望まれる。	
自	ただし、交付実績に応じた予算措置を行う。	
性		
向性とその		
7		
理		
理由		
	   交付実績に応じた予算措置を行う。	同左
	文刊天演に心した子弁旧直を刊り。 	问在
現		
具状		
体維		
的持		
な以		
改外		
善あ		
法合		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	適正な予算措置。	同左
改		
■ 善頭		
に状		
か維		
て持		
改善によって期待される効果(現状維持以外の場合)	コスト面	コスト面
付の	予算削減。	同左
りっぱ		
る合		
効		
果		
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラ	
現	個人負担が大きくなり、設置に関しての意欲な	低下が懸念される。
中状		
止維		
1000		
・持		
統の		
統の廃場		
統の 廃場 合合		
統の廃場		
統 廃合 の		